

事 務 連 絡
平 成 2 8 年 2 月 2 8 日

国立大学法人東北大学 御中

文 部 科 学 省
研究開発局研究開発戦略官
(新型炉・原子力人材育成担当)付

国際原子力人材育成イニシアティブ事業 事後評価結果について

貴機関において実施された「国際原子力人材育成イニシアティブ事業」に係る事後評価結果を、以下のとおり通知いたします。評価基準等については、別に定める「国際原子力人材育成イニシアティブ事業 事後評価について」を御参照願います。

課題名	原子炉安全性向上に資する実践的教育システムの構築—シミュレーション技術を活用した横断型新世代原子力人材の育成—
実施機関	国立大学法人東北大学
実施期間	平成25年度～平成27年度

【評価結果】

B	ほぼ計画通りの成果があげられた
---	-----------------

【審査評価委員会所見】

＜推奨意見＞

- 原子力－土木の専攻横断教育体制を整備し、相互の分野の理解進化を図る意欲的な原子力教育プログラムが整備されている点が評価できる。特に原子力分野を専攻する学生にとって、コンクリートをはじめとした土木工学関連の工学を学ぶことは、原子力関連分野の知識の深化や関連付けに大きく役に立つと期待されるとともに、土木分野を専攻する学生にとっても、原子力に対する正しい知識の教授に役立つものと期待される。
- 加えて、事業の継続性について、計画の段階から留意して取り組みを進めることで、補助期間終了後も意欲的に実施されている点も評価できる。

＜今後への参考意見＞

- 補助期間中の事業実績から考察するに、土木分野を専攻する学生側からの関与に改善の余地があると考えられる。今後、さらなる連携の深化により、相互の人的、内容的交流が更に活性化されるように努めていただきたい。
- 成果の積極的な公開や、他大学への連携も視野に入れながら、今後も継続的に事業が実施されることを期待する。